

## 米国派遣日本人農業者研修（JATP）修了式

（2014年10月8日）

10月8日、総領事公邸において、当館と公益社団法人国際農業者交流協会（JAEC）の共催により、同協会が実施している米国派遣日本人農業者研修（JATP）の修了式を行いました。

冒頭、総領事から、本プログラムにご協力いただいている関係者の方々に御礼申し上げるとともに、研修生に対し激励の言葉を伝えました。続いて、テレンス・リース学長（ビッグベンド・コミュニティカレッジ（BBCC））、リアン・パートン BBCC 財団事務局長、キャス・ゲバース氏（研修生の受入れ農家代表）、吉川 JAEC 米国支部長が挨拶を行い、それぞれ本研修の意義、研修生との思い出、研修生への期待等を交えつつ挨拶を行いました。また、来年は本研修プログラムの50周年の記念行事が開催されることにも触れられました。

その後、出席した58名の研修生一人一人に修了証書が授与され、研修生を代表して富高秀雄さんから修了に当たっての決意表明がなされました。その中で、本研修は自身の人生を変えたこと、帰国してからはブルーベリー栽培を手がけたいと考えていること、支援いただいた方々への感謝等が述べられました。



リース学長挨拶



富高さん挨拶

米国での農業研修を通じて学んだことを活かして、我が国のこれからの農業を担っていただけることを期待しています。

